

## 開館二十年を迎えた千葉県文書館の近況

飯島 渉  
千葉県文書館

### 1. 設立の目的と経緯

千葉県文書館は、昭和63年6月15日、公文書・古文書などの歴史的な資料を収集・保存、さらに活用を図り、県の行政に関する情報を提供し、県民の方々の「ふるさと千葉」に対する理解を深めていただくとともに、県政に対する関心にこたえるため設置されました。公文書館法施行（昭和63年6月1日）後、最初に開館した公文書館にあたります。

当館は今年で開館20年になりますが、千葉県での文書館建設の要望は、昭和41年ごろから高まりをみせました。そして、47年には「千葉県総合文書資料館建設調査委員会」が発足し、翌年には基本構想がまとまり、さらに建設用地の決定、建築設計まで完成しましたが、折からのオイルショックの影響によって、建設事業は凍結、実現されませんでした。

その後、昭和56年に再び文書館設置の構想が浮上し、再調査・再検討がなされました。その結果、「多くの人々が利用できる施設」を念頭に基本方針が示されました。それが「文化行政の一拠点」「情報提供の重視」「情報公開への対応」「公記録の保存」「古文書の保存」の5つです。

そして、昭和59年に基本計画がまとめられ、その冒頭に『千葉県を知る』とありました。この言葉が千葉県文書館のメインテーマとなって、郷土の歴史を知るための施設にとどまらず、現在、そして未来を展望する施設を目指そうという姿勢を示しています。

### 2. 文書館普及の取り組み

多くの人に文書館を利用していただくために、

広報・普及活動を積極的に展開しています。特に、今年が開館20周年、また千葉県史編さん事業終了の年にあたりますので、これを契機に来館者数の増加を図っていきたいと思っています。

#### 2.1 企画展

6月14日から企画展「文書館ってすごい！～収蔵資料にみる20年～」を開催しています。初展示の資料も数多く紹介しています。文書館の所蔵する資料のすごさ - 資料的価値や点数だけでなく、見た目も含めて - を感じていただける展示になっています。



写真 展示室

#### 2.2 千葉県史の編さん

平成3年度から開始した千葉県史編さん事業も今年度で全51巻を刊行し、完結します。「千葉県の歴史 通史編 近現代3」、「千葉県の歴史 別編 年表」の2巻を刊行予定です。

#### 2.3 講座・講演会

古文書講座と千葉県史に関連した歴史講演会を開催しています。古文書講座は、受講者のレベル

に合わせて「入門」「初級」「中級」の3コース（各3回）から選択して受講していただけます。今年度は、8月20日から9月9日にかけて開催しました。

講演会は、千葉県史の最新刊に合わせたテーマで講演をしていただいています。併せて、県史の販売促進の効果も狙っています。今年度は、企画展のスタートと同日の6月14日に開催しました。

#### 2.4 ビデオシアター

当館にはビデオシアターが3室あり、映像資料を視聴することができます。千葉に伝わる民話のアニメビデオもあるので、小さなお子様にもご利用いただいています。

また、昭和27年から昭和62年までに製作された16mm フィルムの県広報映画757本をDVD化し、シアターでご覧いただけるようになりました。県政関連の映像だけでなく、祭りなどの民俗や歴史にまつわる貴重な映像も含まれているので、利用者層も幅広く、その数も増加しています。

また、地元テレビ局のニュース番組内で、「映像で振り返る千葉県」というコーナーで、毎週1本を取り上げて放送していただいています。



写真 1階 行政資料販売コーナー

#### 3. 情報発信基地としての文書館

平成13年に「千葉県情報公開条例」が施行されたことを受けて、文書館がその窓口のひとつとして中心的な役割を果たしています。それが、行政資料の販売と県政情報の公表です。行政資料の販売は、県が作成した事業概要や統計資料など約400種の行政資料を販売しています。

また、千葉県では、県が保有するさまざまな情報うち、公表可能な情報は積極的に公表しています（「県政情報の公表に関する要綱」）。その公表の方法は、「原則として文書館行政資料室における閲覧」とされ、その他にインターネットなど効果的な方法で公表しています。昨年度は、県政情報の閲覧に1,000件を超える利用がありました。最近では、新聞報道や県のホームページ上でも公表された“ふさのくに歩いて健康マップ”（およそ1万歩で歩けるウォーキング・コースを紹介した地図、健康づくり支援課作成）の閲覧・利用に多くの方が来館されました。

#### 4. おわりに

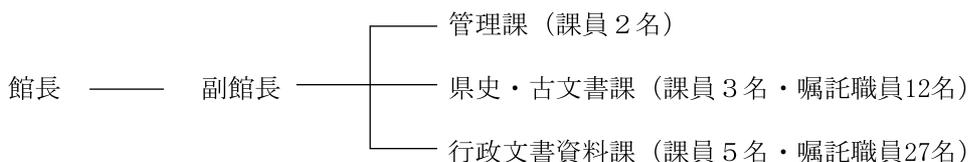
以上、文書館普及に係る取り組みを中心に紹介してきましたが、もちろんアーカイブズとして、その根幹である資料収集と整理についても、疎かになっているわけではありません。未整理の古文書、行政文書の整理も全力で進めており、整理が完了して閲覧可能な資料の点数も大きく増加しています。また、デジタル・アーカイブズ化への取り組みも進めています。

開館20年を迎えて、もう一度、基本方針に立ち返るとともに、いつでも「こうすれば...」「こうした方が...」という意識を持って文書館の運営を行っていきたいと思います。

データシート

平成20年3月31日現在

- ・機 関 名：千葉県文書館
- ・所 在 地：〒260 0013 千葉市中央区中央4 - 15 - 7
- ・電 話/FAX：043 - 227 7555/043 - 227 7550
- ・ホームページ：http://www.pref.chiba.lg.jp/bunsyokan/
- ・交 通：モノレール県庁前駅（徒歩3分）、JR 本千葉駅（徒歩10分）  
京成千葉中央駅（徒歩10分）、JR 千葉駅（徒歩20分）  
JR 千葉駅からバス利用の場合  
駅前バス乗り場 2番から中央バスで、3・5番から小湊バスで県庁前バス下車徒歩3分
- ・開館年月日：昭和63年6月15日
- ・設置根拠：千葉県文書館設置管理条例（昭和62年12月21日千葉県条例第31号）
- ・組織

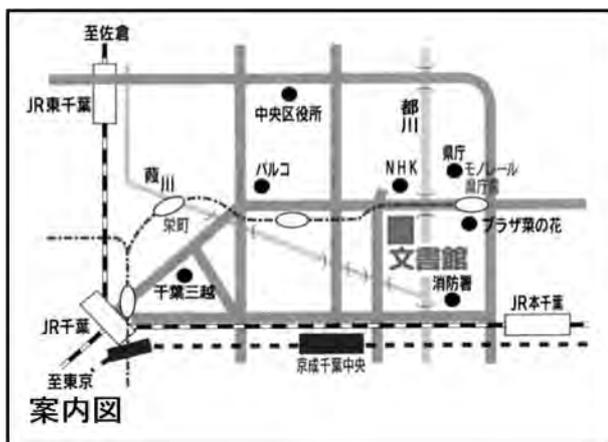


- ・建物
  1. 敷地面積：2,209.36㎡
  2. 建物延面積：6,009.482㎡（書架延長 15,381m）
  3. 構 造：鉄筋コンクリート造

- ・収蔵資料の概要
  - 古文書 438,851点
  - 行政文書 130,244冊
  - 行政資料 85,770冊
- ・開館日数/閲覧室利用者数  
276日/2,069人（平成19年度）



- ・休館日  
日曜・国民の祝日・休日、  
年未年始（12/29～1/3）、毎月末
- ・主な事業（平成20年度）
  - ・行政文書の収集・整理・保存
  - ・古文書の調査・収集・整理・保存
  - ・行政資料の収集・整理・提供
  - ・千葉県史の編さん（第14回刊行）
  - ・講座・展示・刊行物など
- 古文書講座（入門・初級・中級の3コース）  
県史刊行記念講演会
- 企画展「文書館ってすごい！～収蔵資料にみる20年～」
- 紀要「千葉県の文書館14号」「収蔵文書目録22集 鳥飼家文書目録下」



執筆者紹介：  
飯島 渉（いいじま わたる）：千葉県文書館管理課主査。平成16年4月より千葉県文書館行政文書資料課、平成17年11月より管理課に勤務。